

令和5年度 指定管理者事業評価書

1 施設の概要

施設名	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、武家屋敷、白石市小十郎プラザ		
所在地	白石市益岡町 ほか		
制度導入年月	平成20年4月	所管課	まちづくり推進課

2 指定管理者の概要

指定管理者	白石市文化体育振興財団		
所在地	白石市鷹巣東2丁目1番1号		
指定期間	令和5年4月～令和10年3月	年数	5年
選択方法	非公募	指定管理料	期間合計 188,000,000円
受託区分	更新		令和5年度 37,600,000円

3 利用実績

単位：人

施設利用者	R1	R2	R3	R4	R5
目標数	73,061	74,025	48,160	23,410	74,025
実績数	96,097	45,170	45,497	26,727	90,865

4 収支実績

単位：円

収入	予算	実績
指定管理料	37,600,000	37,600,000
利用料収入	59,953,000	57,419,203
その他の収入	42,000	188,921
合計	97,595,000	95,208,124

支出	予算	実績
人件費	61,086,000	62,879,901
事業費	25,310,000	22,284,645
事務費	14,076,000	13,225,598
合計	100,472,000	98,390,144

収支	-2,877,000	-3,182,020
----	------------	------------

5 指定管理者による自己評価

評価	白石城災害復旧工事や武家屋敷の修繕工事が令和4年度に完了し、施設が通常営業に戻った。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、インバウンドをはじめ来館者が戻ったことで、各施設の利用者や各種収入は前年度より増加した。
今後の目標	市や市内活動団体、市内宿泊施設が観光連携を図ると共に、ホームページやフェイスブックにより最新情報を常に発信し、集客に努める。また、外国からの観光客も増加していることから、引き続きインバウンド対策を強化し、交流人口の拡大に繋がる自主事業を開催していく。

6 個別評価

評価項目及び評価基準		所管課 評価
1 住民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること。		
施設の管理運営方針について		B
平等な利用の確保とサービスの向上を図る具体的な取組みについて		B
他施設や市、地域との交流・連携について		B
施設利用者の要望や意見の把握及び対応について		B
2 公の施設の効用を最大限に発揮させるとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。		
施設の有効活用、利用者増への取組みについて		B
施設の効率的運営、経費縮減のための取組みについて		B
事業内容について		B
施設維持管理について		B
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。		
安定的な運営が可能となる人的能力について		B
市への納付金支払額について		
施設管理の安全性（個人情報保護の取組みについてを含む）及び緊急時の対応について		B
収支計画の実現可能性について		B
団体の安定性、継続性について		B

【評価基準】

- A（優 良） 計画書等を上回る優れた施設運営が行われた
- B（適 正） 計画書等に沿った施設運営が行われた
- C（課題有） 概ね計画書等に沿った施設運営が行われたが課題がある
- D（要改善） 計画書等の水準に達しない施設運営であり、改善の必要がある

【市の総合評価】 B

評価コメント：施設の運営管理、職員の対応等について、協定書、仕様書、事業計画書に基づき適正に行われている。また、自主企画事業を実施するなど交流人口拡大に向けて努めている点が評価できる。

【指摘事項】